



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

# まほろば

# 社協広報

第73号



## 山形村の自然を満喫!!

**写真** 子どもひろばの様子

網を手にビオトープの中の珍しい水中の生き物を探す子どもたち。

暑さも忘れ夢中になっている姿に、昔どこにでもあった風景が再現されました。

詳しくは5ページをご参照ください。

- 防災意識を高めよう!!/新たなレシピに挑戦…………… 1
- 寄稿-奉仕団の活動とこれから- …………… 2
- ふれあいDAY/音楽で村を盛り上げよう …………… 3
- ボランティアグループ紹介…………… 4
- 放課後等デイサービス/子どもひろば…………… 5
- 平成28年度 普通会費納入結果…………… 6
- 共同募金運動にご協力ください…………… 7

## 防災意識を高めよう!!

9月4日(日)村内各地区において、山形村総合防災訓練が行なわれました。自主防災会による避難訓練や炊き出し訓練、トリアージ訓練、AEDの講習、AEDデモ機を使った訓練など、様々な訓練が実施されています。

今年度、山形村社会福祉協議会では、下大池地区のAED体験に職員がうかがい、お手伝いをさせていただきました。

AEDは機種によって取り扱い方法が異なり、小児用と成人用の切り替えスイッチのある物や、小児用のパッドが付いている物があります。

そのためより多くの方に、公民館等に配備されているAEDの取り扱い方法について、体験いただくことが必要となります。

今回は実際にデモ機の音声に従いながら2人1組で訓練を行ないました。

訓練に参加した方からは、「訓練だけど焦った。いざとなったら使えるのか不安」「訓練をしてみて、AEDがどんな物なのかが分かった。思いのほか大丈夫だった。使えるかなといったためらいが減った」「以前救命講習を受けた時に使ったことがあった。いざ使う時は気が動転していると思うので、訓練しておくで安心。若い人もこういう機会に体験しておいた方がいいと思う」という声がありました。

訓練参加者には、日頃から救命や災害に備えた意識が一層深められる機会となりました。



## 新たなレシピに挑戦

### ～地域防災を支える～

8月6日(土)に日赤奉仕団による炊き出し訓練がいちいの里に於いて行なわれました。炊き出し訓練は災害時を想定し、工夫しながら毎年実施されています。

昨年は水不足を想定し、雨水等でも調理ができるように袋の野菜を煮込む訓練を行ないました。今年は災害時の栄養不足に着目し、炊き出し釜を使用し多人数分の食事を作ることを課題に実施しました。

メニューは栄養豊富な夏野菜で作るトマトスープと焼きそばが選ばれ、食材は山形村の物を使用しました。

レシピについては『日赤奉仕団の100のレシピ集』があり、災害時でもできる多彩なメニューが載っているため、その中から選びました。

また訓練の中では、身近にできる防災意識として、タオルで作る防災頭巾の作成方法も紹介されました。

参加した奉仕団員の方からは「地域の防災活動を通して防災意識を持つことができる。いざという時のための積み重ねだと思う。災害はない方がいいが、備えておくことが大事。またこうして多くの奉仕団員が集まるのが大切で、各地区にも活かしていけるのではないかと思います。」との声がありました。



寄稿

## 奉仕団の活動とこれから

山形村分区日本赤十字奉仕団会長 小林 昭 五

◎赤十字奉仕団は災害時の救護活動、日常に於ける救急活動、また地域の社会福祉等に関する次の事業を実施しております。

- ・炊き出し訓練
- ・各地区防災会への協力
- ・赤十字乳児院まつりへの協力
- ・敬老会送迎時乗降安全確保に対する協力
- ・社会福祉協議会福祉のつどいへのバザー品等への販売協力
- ・救急法の講習会（心肺蘇生及びAEDの使い方、三角巾等による応急処置の仕方）
- ・社会福祉事業等に関する視察研修会（赤十字本社、長野赤十字病院基幹災害医療センター、小谷村「立屋共働学舎」〔障害者による生活を共にした就労施設〕等の視察
- ・海外たすけあい街頭募金活動



福祉のつどいバザー販売の手伝い

このような事業活動を行なうことにより、地域と密着した社会活動と災害時の救護活動の訓練や心構えの醸成を行なっております。

地区防災会では毎年行なわれる地震総合防災訓練に於いて各地区に会員が参加し、住民と連携して炊き出し訓練等救護活動訓練を一緒に行ないます。

◎山形村分区日本赤十字奉仕団の歴史と現状及び団員増強について

奉仕団の組織体制は各市町村によって様々な違いがあります。

山形村では婦人会がその活動を担っておりましたが、解散となったため、婦人会で活動されていた方々が女性団体ボランティアグループを結成しました。

その中で赤十字活動が行なわれ、以後赤十字奉仕団として正式な団活動となりました。

近年は奉仕団員も高齢化となり、減少傾向にあります。新入団員を募集しても中々入団が難しい状況となっております。

赤十字奉仕団における日頃の訓練と事業が、いざという災害時に奉仕団の活動として活かすことができると思います。村民の皆様の深い御理解と御協力を、この誌面を通じて心よりお願いする次第です。



救急法の講習会（三角巾）



救急法の講習会（AED）

お問い合わせ  
山形村社会福祉協議会内  
山形村分区日本赤十字奉仕団事務局  
☎97-2102 担当：桐原

# 上大池 ふれあいDAY



8月7日(日)、上大池地区にて上大池ふれあいDAYが開催されました。今年度は懐かしの遊びとして紙ふうせんや、紙飛行機作り、健康をテーマにした「スポーツ吹き矢」など幅広い年齢層の方が集える内容を『上大池夢♥ふれあい隊』や子ども会育成会の方々が企画しました。

当日の午後からは、塩尻志學館高校演劇部による公演が行なわれ、昭和のスター歌手の一人である坂本九さんの生涯をとりあげた作品を上演してくださいました。歌を交えたシナリオを、若い力で演じる姿に参加者から「感動した。初めて学生の演劇を見たが、学生ならではの良さがある」と感想が聞かれました。



平成19年から始まった『上大池夢♥ふれあい隊』の活動は、有志が集まった上大池地区の住民が地域のコミュニティや福祉の向上を目的に、区民同士が繋がる場の企画を続けています。



近年では各地で度々おこる災害や、社会的な孤立の問題に「人と人との繋がり」が求められています。しかし、環境や生活スタイルの変化により、人や地域と関わらなくても基本的な生活は送れるため、繋がりが減少しているのは事実です。昔のように生活していくために人や地域と関わらざるをえない環境ではないからこそ、意識的に地域コミュニティを作って、後世に繋いでいく必要があるのかもしれません。

## 音楽で村を盛り上げよう!!

今回で5回目となった「收音祭」。今回は、清水高原とアイシティの2会場で行なわれました。アイシティ会場では、村の山形ウィンドアンサンブル、永井ピアノ教室、子どもコーラスたんぽぽ、鉢盛中学校合唱部の皆さん、また村出身の林美智子さんや渡梓さん、アイドルグループ「一日だけアイドルやってみた」も出演。演奏や歌声に大勢の買い物客の方々が足を止め、音楽を楽しまれました。また清水高原も大勢のプロが出演し、村内外から訪れた皆さんに披露されました。尚、この「收音祭」は、収穫と音楽の祭典として村内外の有志の方々が、企画・運営をされています。



## ボランティアグループ紹介

### 人形劇サークル てぶくろ 上條 朋子

「みなさん、こんにちは！」

さあ、人形に魂が宿り、蹴込（けこみ）では人形達の物語が始まります。人形には表情がありません。遣い手により人形達は表情を得ます。笑う・泣く・怒る。体じゅうで、頭（かしら）で自分の思いを伝えます。

その遣い手として25年以上活動してきたのが「人形劇サークル てぶくろ」です。村の人形劇講座を発端に、有志によりボランティアグループとして継続してきました。発足当時のメンバーはいなくなり、ここ20年ほどは10人前後でメンバー入替をしながら、村や近隣の保育園・幼稚園・



幼児団体施設・児童館・図書館・福祉施設・介護施設等の依頼を受けてきました。妊婦時代、子育て時代、介護時代（継続中）を経て今に至ります。

そんな会も村の諸事情で備品保管、練習場所の確保が難しくなり、この機にと大半のメンバーが辞めてしまいました。本年度は存続の危機となりましたが、その後一部施設の協力をいただけ、永年のボランティア活動と精神の灯を消したくないと、現在数人で細々と続けています。

人形制作・台本作り・会場視察・公演準備・公演・片付け、仕事との両立と大変なことは多くあります。ですがその分、本番のこども達やお年寄り達の反応が嬉しく楽しく、何にも代えがたい感動をもらえ、続ける原動力になっています。多くの笑顔に出会えることで達成感と充実感が味わえます。

興味や関心のある方、一緒にやってみませんか？素人のお母さんの集まりです。プロのように上手ではなく失敗も多くあります。でも、私達にしかできない人形劇があります。都合のつく限りの参加でもかまいません。仲間になりませんか？

いつまでも、心温める「てぶくろ」でありたいと思っています。



**私たちと一緒に  
子供たちの笑顔  
に会いに行きま  
せんか！！**



## 放課後等の居場所づくりを目指して

障害児通所支援事業所すばる（放課後等デイサービス）が、本年度4月から本格的に事業を開始しました。

事業の概要は昨年度の「広報まほろば70号」でご案内させていただきましたので、今号は利用されている小、中学生のお子さんの様子を紹介させていただきます。

放課後等デイサービスでは概ね5～10名のお子さんたちが、月曜日から金曜日まで利用されています。

お子さんたちの特性に応じた多様な支援を心掛け、放課後の時間を有意義に過ごすお手伝いをさせていただいています。

また、長期休みにおいて生活向上のために社会との促進等の機会を提供することを目的に、下記のような流れで過ごしていただいています。

### スケジュールの流れ



放課後	長期休み
15:00 学校へお迎え	9:00 自宅迎え
15:15 すばる到着	すばるのお掃除
手洗い・うがい	10:00 宿題
15:30 おやつ	11:00 外出
16:00 自由時間	(買い物体験・外食)
(ゲーム・散歩等)	13:00 自由時間
17:00 自宅まで送り	15:00 おやつ
	15:30 自由時間
	17:00 自宅まで送り



※個人に合った過ごし方もできます。送迎はご相談にて調整可能です。

放課後等デイサービスは、多目的福祉施設である『すばる』の中に置かれています。お子さん同士の交流の他に、色々な事業所の利用者・関係者との自然なふれあいや、交流を通して得られる社会体験・生活習慣の向上も期待されます。

今年の夏休み期間中には、外出を企画しました。家族から頼まれた「おつかい」の体験をしたり、フードコートで自分の食べたいものを注文し、購入する等の体験をしました。その帰りには、季節の風を感じながら、楽しく遊ぶことができると、公園にも立ち寄りしました。今後も限られた時間ではありますが、日常生活に必要な様々な体験を提供させていただきながらご家族と相談し、そのお子さんにあった支援を職員一同心掛けていきます。

利用に関する見学、説明等を随時行なっておりますので、お気軽に下記までお問い合わせください。



障害児通所支援事業所すばる（放課後等デイサービス）  
 営業日：月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）  
 サービス提供時間：平日 15時～17時 長期休み 9時～17時  
 電話：87-8754 担当 田口・宮田

## 子どもひろば

～自然にふれあう5日間～

8月8日(月)～8月12日(金)「自然の中で楽しく遊びましょう！」をテーマに本年度も子どもひろばが開かれました。

たてべ子どもひろば（建部の里）と、いこい子どもひろば（下大池公民館）の2カ所に分かれ、延べ約90名の子どもたちが参加しました。多くのボランティアさん、保護者の皆さんのご協力をいただき、夏休み好例の行事としてすっかり定着した人気のじゃがいも堀り、ブルーベリー狩り、竹パン作り、流しそうめんなどが行なわれました。

その中でも、「自然観察体験」や「なろう原公園自然遊び」が企画され、郷土の自然に親しむことで、その楽しさを体験し、その大切さを学ぶことができました。

「ビオトープで、水中の生き物の保護をし、自分たちの知っている昔からの生態を子どもたちにたくさん残していきたい。」  
 「だが、ただ見せるだけでは、本来の趣旨が子どもたちへ伝わらない。やはりビオトープを開放して実際に生き物と触れ合うことで生命・環境の大切さを知ってもらえるのではないか。」というアクアの会（上條さん談）の想いが子どもたちに伝えられ、八幡神社近くのビオトープを観察体験の場に開放して下さいました。

子どもたちも、実際見たことの無いような生き物を手に取ることで、大切に育てることの意味を知る良い機会となったのではないかと期待されます。

なろう原公園の上にあるツリーハウスのまわりには、子どもたちと実行委員の中村さんの姿があり、「ふしが無いと鳴らないんだよ」と教えてもらいながら一緒に竹笛を作っていました。子どもたちも「どうして鳴るのかな?」「初めて吹いた」と自然の素材を使った遊びの楽しさを実感できたようでした。お昼は皆で野菜を切ったりしながら作った手作りカレー。とても美味しかったようで、おかわりする子もたくさんいました。



\*自然の中で目一杯遊び、今年の夏も素敵な思い出をつくることができました。

## 平成28年度●山形村社会福祉協議会普通会費納入結果

平成28年度の山形村社会福祉協議会普通会費納入につきましては、本年度も大勢の会員の皆さんからご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

**総額 2,821,500円(1,881件) 平成28年9月5日現在**

### ■山形村社会福祉協議会／普通会員会費 (1口/1,500円)

(単位：円)

連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額
豆沢南	16	24,000	橋爪西	13	19,500	青葉台	7	10,500	下北沖A	56	84,000	北堀	20	30,000
豆沢北	16	24,000	橋爪東	52	78,000	本郷東	28	42,000	下北沖B			竹原	31	46,500
青木沢南	15	22,500	下大池下村	18	27,000	南原	1	1,500	上中原	26	39,000	原町	29	43,500
青木沢中	3	4,500	中央通	43	64,500	西原	-	-	中原町	37	55,500	北竹原	19	28,500
青木沢北	16	24,000	城ヶ沢	11	16,500	四ッ谷中	9	13,500	新町	27	40,500	竹田原	18	27,000
中耕地西	16	24,000	西沖	28	42,000	本郷北	11	16,500	小坂台	17	25,500	三夜塚	24	36,000
中耕地東	19	28,500	唐沢下	28	42,000	四ッ谷東	11	16,500	下中原	11	16,500	南竹原	24	36,000
久保	16	24,000	四ッ谷上	33	49,500	本郷西	19	28,500	第一	23	34,500	新星	5	7,500
堤南	36	54,000	四ッ谷下	38	57,000	山口	21	31,500	中嶋	17	25,500	若葉	10	15,000
堤北	39	58,500	原村上	26	39,000	大日	16	24,000	美の里ヶ丘	18	27,000	野尻東	9	13,500
淀の内	32	48,000	原村東	18	27,000	日向	25	37,500	唐沢上	18	27,000	野尻西	6	9,000
上手西	19	28,500	宮村	30	45,000	堂村上	13	19,500	神明	35	52,500	清水高原	4	6,000
上手東	17	25,500	殿村	32	48,000	堂村下	10	15,000	荒川	18	27,000	梨の木	20	30,000
野際	31	46,500	中耕地	28	42,000	清水	12	18,000	上手村	26	39,000	中竹原	11	16,500
中大池中村	36	54,000	上竹田中村	30	45,000	本殿上	20	30,000	西下	16	24,000			
中大池下村	27	40,500	御判形	42	63,000	本殿下	16	24,000	北村	17	25,500			
下村東	38	57,000	下本郷	49	73,500	東殿	12	18,000	南中	33	49,500			
野際東	11	16,500	新和	28	42,000	上北沖	17	25,500	北中	19	28,500			
仲町	29	43,500	四ッ谷西	2	3,000	中北沖	21	31,500	南堀	33	49,500			

## 赤十字の活動資金にご協力をいただきありがとうございました。

平成28年度日本赤十字社長野県支部山形村分区社資収納運動結果報告

地区名	社資額(①+②)	社費額(①)	寄付額(②)
上大池	149,500円	110,000円	39,500円
中大池	135,500円	122,000円	13,500円
小坂	261,500円	193,000円	68,500円
下大池	151,500円	111,000円	40,500円
上竹田	301,500円	231,000円	70,500円
下竹田	331,500円	264,000円	67,500円
合計金額	1,331,000円	1,031,000円	300,000円

**総合計金額 1,331,000円** 日本赤十字社長野県支部へ全額を送金いたしました。

### お詫びと訂正

『広報まほろば』72号掲載の山形村社会福祉協議会役員名簿の一部に誤りがございました。ここにお詫び申し上げます。以下訂正をし再掲載させていただきます。

## 山形村社会福祉協議会理事・監事・評議員 (新会期就任者名簿) (敬称略)

(平成28年6月1日現在)

### 理事

中村 一博(会長)  
中村 俊春(副会長)  
山口 隆也(副会長)  
平沢 恒雄  
上条 光明  
上原 直久  
中村 哲昭  
小林 五晃  
小永 田司  
小林 司

### 監事

神通川 清一  
赤羽 千秋

### 評議員

三澤 一男  
上条 浩堂  
中村 弘一  
百瀬 昇一  
山根 文雄  
小田 健二  
稲田 治喜  
大塚 恭子  
花村 英昭

滝浦 隆子  
澤野 照子  
塩原 眞子  
小根 佳子  
根田 佳子  
鈴木 守一  
清澤 實長  
中村 磨視  
村長 雄

林 和男  
中村 健  
金井 さゆり

平成28年度

# 赤い羽根・歳末助け合い 共同募金運動にご協力ください



——皆さまからの共同募金が地域福祉を支えます——

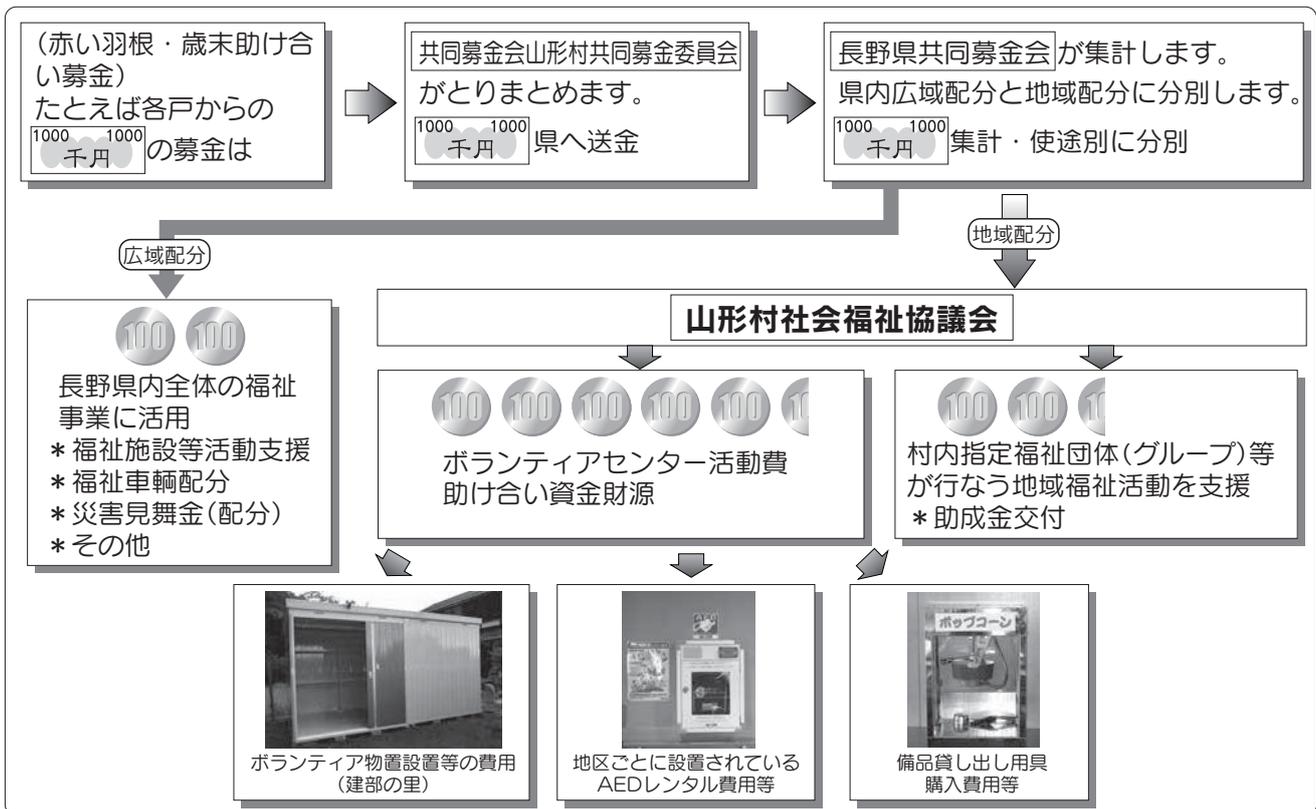
少子高齢社会の今日、地域で安心して生活していくためには、さまざまな福祉サービスが必要です。そのため地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会や民間の社会福祉団体や施設、またボランティア団体等によって、多彩な福祉活動が展開されています。

皆さまからの共同募金は、こうした活動の支援のため役立てられます。

平成28年度共同募金運動の実施期間（山形村共同募金委員会の場合）

**平成28年10月1日から10月31日まで**（日曜日を除く）

- \* 山形村共同募金委員会の平成28年度目標額は、1,960,000円です。
- \* 各連絡班ごとに集金いただき「戸別募金」をはじめ、「学校募金」、「職域募金」、「村内公共施設募金(箱)」等により、皆さまの温かいご協力をお願いします。
- \* **戸別募金**の例 戸別の募金として、1戸から1,000円の協力をいただいた場合の募金の流れ（イメージ）



長野県共同募金会 山形村共同募金委員会  
（事務局）山形村社会福祉協議会内 ☎97-2102

**まほろば**（社協広報／第73号）平成28年9月23日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（山形村保健福祉センターいちいの里内）  
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108  
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 『まほろば』に載せきれなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。